

7月 すくすくだより

令和8年7月29日

宮代こども園

梅雨が明けて暑い日が続く中、園庭や遊戯室では子どもたちのにぎやかな声が聞こえてきます。子どもたちが『やってみたい』と興味や関心をもつような、夏ならではの活動を考えていきたいと思っています。

地域の方との交流をしたよ

不破高校の校長先生を招待したよ



美濃里・ゆのきがわを訪問したよ



宮代こども園のことをもっと知ってもらうために、不破高等学校の校長先生を園に招待し、クラスを案内して小さなお友だちを紹介したり、今、園で楽しんでいる遊びを見てもらったりしました。

また、美濃里・ゆのきがわに訪問し、おじいちゃんおばあちゃんとふれ合ったり、歌を聴いてもらったりしました。

校長先生や、おじいちゃん、おばあちゃんのたくさんの笑顔を見て、子どもたちからも、自然と笑みがこぼれていました。

人権教室に参加したよ



全園児が人権教室に参加しました。人権人形劇ではたくさんの動物たちに釘付けの子どもたち。「ぞうさん、お鼻のことを言われて嫌な気持ちだね」「かわいそうやな」と、5歳児の中には思ったことを口にする姿が見られました。『みんな違ってみんないい』ということを教えてもらいました。

茅野輪くぐりに行ったよ



3・4・5歳児が、南宮大社へ茅野輪くぐりに出掛けました。子どもたちは、大きな茅野輪を見て「わ～！大きいね」「どうやって作ったのかな？」と、興味津々。くぐるときは、少し緊張しながら友達と一緒に歩きました。宮代こども園の子どもたちが、暑い夏を元気に過ごせますように。